



# 梅田中だより

&lt;第4号&gt;

**5月**

## 今年度最初の中間テストが終了しました。

5月始めはゴールデンウィークがあり、ゆっくりできましたが、後半は中学校1年間のスケジュールの中でも、大切な成績に関係している最初の中間テストがやってくる月でもあります。

1年生の子供たちにとっては、中学校に入学してから初めての試験でした。学校でも準備の仕方を伝えていましたが、戸惑ったお子さんも多かったのではないのでしょうか。

今年は、ゴールデンウィークが終わった後、何人かの保護者の方から次のようなお話をうかがう機会がありました。「今年は、早めに準備をコツコツしていた」とか「例年よりも集中して取り組んでいた」というお話でした。子供たちが、自分の将来に前向きに取り組んでいるのかなど、とても興味深く聞かせてもらいました。定期テストは、現在の学習状況が、どのように身についているかを自分自身で判定するための客観的な材料となります。ただ、子供たちにとって、テストはあまり嬉しくはないようですが…。

将来、どのような職業に就きたいかが、もうすでに明確に決まっているお子さんは、まだ、あまり多くはないのではないのでしょうか。私の中学校時代を振り返ってみても、やはり、漠然としていたように思えます。

しかし、だんだんと成長し、いざ、大人になり社会貢献をする立場になった時、自分が就きたいと思った職業が、資格や技術、さらには、学校の卒業証明等が必要な場面がおとずれた時、困らずに対応できる力を今から身に付けておきたいものです。

もし、今回、準備がうまく整わなかったお子さんを見かけた時には、次のように声を掛けてください。「今回、必要だったのは“時間?”、“やる気?”、それとも“学習を準備する量?” いったいどれだったのか、一緒に考えてみよう。そして、次に生かそうね。」と言ってあげてください。どの子供たちにも、同じだけの時間が用意されています。ぜひ、その時間を上手に活用できるよう、励まし続けていきましょう。

## 学校では、さまざまな方々や関係機関と連携して、 子供たちの学校生活を応援しています。

子供たちの学校生活は、さまざまな立場の方々から応援をさせていただいております。先日は、学校の入口付近の横断歩道の舗装が痛み、溝ができてしまっていました。大きく開いた溝に子供たちの自転車のタイヤがはまって、いつか転んでけがをしまうのではないかと心配していました。このことを学校の住所がある梅田町2丁目の大澤町会長へ連絡したところ、すぐに道路を管理している事務所へ連絡を取ってくれ、5月の連休中に応急処置を施していただきました。速やかなご対応をいただき、たいへんありがたく感じています。これで子供たちの安全が確保されたかと思うと、本当に安心することができます。

このほか、学校はさまざまな関係機関と連携をしています。学校での子供たちの心配事や悩み事等の相談には、学校の教育相談員やスクールカウンセラーが対応してくれます。学校外で教育のことで相談をしたい場合には、教育委員会でも受け付けてくれます。さらに、家庭で何か困ったことが発生した時には、桐生市の子育て相談課や児童相談所、そして、青少年課、警察も対応してくれます。また、子育て相談課の中にも、子供たちの悩みを聞いてくれる心理士の方やスクールソーシャルワーカー（通称SSWといいます）もいて、保護者の方々のご家庭における子育ての悩みも聞いていただくことができます。

このように学校では、子供たちが学校生活をスムーズに送るために、さまざまな関係機関と絶えず連絡を取りあっています。これからも、多くの方々からの支援を受けながら、子供たちの学校生活を応援していきたいと考えています。

特に、子育て相談課は、子供たちが中学校を卒業してからも、何かあった時には気軽に相談をすることができます。子供たちにも、ぜひ、覚えておいてもらいたいのは、中学校を卒業した後に、何か困ったことが起きた時には、相談する場所はたくさんあるのだということです。

# 中体連春季大会終了、陸上競技の走り高跳びで 3年生男子が有終の美を飾りました。

5月8日（土）に実施された、桐生市の中体連陸上競技部の春季大会で3年生男子が、走り高跳びの種目で自己ベストの160cmを跳び、見事優勝しました。

そもそもこの3年生男子は100m、400mのトラック競技が専門でした。昨年度の2学期の体育の走り高跳びの授業で、いきなり150cmをクリアしてしまいました。先見の明をもつ藤生教諭が、ここに目をつけ、彼に大会で走り高跳びに挑戦してみないかと声を掛けました。少しずつ練習を重ね、彼自身が本来、持っている跳躍力も相まって、少しずつ記録が向上したとのことでした。

今年の5月3日（月）の憲法記念日に森エンジニアリング桐生スタジアムで実施された、桐生市陸上競技記録会では、すでに自己ベストの159cmを跳んで、桐生市で1位となっていました。中体連の春季大会では、自己ベストをさらに1cm更新したことになります。今後、さらに記録が伸びるものと思われる期待の選手ですので、応援をよろしくお願いいたします。ご注目ください。

なお、残念ですが、群馬県の中体連より6月に実施を予定していました「春季県大会」はコロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、中止との連絡が入りました。せっかくの活躍の機会だったのですが、本当に残念です。

子供たちが一生懸命、頑張ってたかみ取った成果を、カー杯、発揮できる状況と、皆でカー杯、大きな声援を送れるような状況に早く戻ってくれることを、心から願っています。

## 学校の環境整備の頼もしい助っ人 毎回、さまざまな場面で用務員さん大活躍！

昨年、赴任して以来、学校の安全管理という点で、気になっていたのがゴミ捨て場のとびらです。これまでは縦60cm、横120cmのかなり重量のある鉄製のとびらがついており、大人でも開け閉めするのに力が必要でした。頑丈ではありますが、もし万が一、子供たちがゴミを捨てている際に手を挟んでしまったらと考えると、早急に対処が必要な箇所でした。

早速、技術員の中島さんに相談したところ、子供たちでも簡単に開け閉めができる木製のとびらを手作りしてくれ、取り替えてくれました。

これまでも、用務員さんには学校の環境整備でお世話になっています。テニス部の子供たちが、用具を置いている砂だらけだった棚も、いつの間にかきれいにペンキが塗られ、人工芝まで生えています。そして、部活が終わった後、暗くなって帰り支度に困らないように、暗くなって人が近づくと自動的に点灯するライトも付けてくれました。

もう一人の中村さんは、学校の植物の手入れを一手に引き受けてくれており、学校の環境美化に力を注いでくれています。

このように、私たちは知らないところで多くの人の方に支えられながら、学校生活を送っています。子供たちにも、何か学校内の手作りの物品等で「あれっ、これっていつ付いたのかな？」と気づいた時には、用務員さんに、自然に感謝の言葉が出るよう伝えていきたいと考えています。



取り替えた後のゴミ捨て場のとびら



今日もどこかで学校を修理してくれています



人工芝つきの美しい整理棚



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>

TEL 32-1018, FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧ください。